

大阪民衆史研究会報

2026年6月号

第33巻第6号

(通巻367号)

発行 大阪民衆史研究会 (代表 林 耕二)

E-mail: osaka.minshushi@gmail.com (オーサカ ドット ミンシューシ)

例会のお知らせ

◇大阪民衆史研究会定期総会のご案内 (6月例会は今回は休止)

日時 7月19日(日) 午後1時半受付 会場 府教育会館3Fローズ

2時開会・記念講演～3時20分 3時半から総会～4時半終了予定

記念講演 広川禎秀さん(会員・大阪市立大学名誉教授)

「反ファシズムの闘いと大阪商大事件の真実(仮題)」

高市政権のもと、憲法9条改悪をはじめ、スパイ防止法など、「戦争国家づくり」をすすめるという点で、戦後かつてない危険な状況が生まれているなか、あらためて歴史に学ぶ必要があるのではないか。1943年、旧大阪商大(のちの大阪市立大学・現大阪公立大学)の名和統一教授とその門下生、日本貿易研究所所員の内田譲吉らの検挙で弾圧が始まった。その後、「ケルングループ」の商大生の検挙などが続き、教員の上林貞治郎など多くの教員や学生、卒業生などの検挙が1945年1月まで続いた。検挙された者50名、そのうち起訴された者が34名に上る。拘束されずに特高に取調を受けた学生が44名。その中で、獄死者が3名、精神に異常をきたした者が3名。釈放後、病死した人が何名もいた。記念講演は誰でも参加できます。

◇8月例会

日時 8月22日(土) 午後1時開場、2時開会 教育会館3F桃の間

報告 石月静恵さん(会員・大阪女性史研究会)

石原佳子さん(会員・大阪市史料調査会理事)

「『新聞でたどる女性史—朝日新聞記者恩田和子の仕事』を出版して」

1919年、女性運動団体の全関西女性連合会が成立した。朝日新聞記者の恩田和子は、27年から解散まで理事をつとめ、関西の女性運動を牽引した。(詳細は次号)

参加費 会員400円、非会員500円